

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1470800820	事業の開始年月日	平成16年5月1日	
		指定年月日	平成16年5月1日	
法人名	株式会社保健科学研究所			
事業所名	グループホーム金沢けやき園			
所在地	(〒236-0042)			
	神奈川県横浜市金沢区釜利谷東4-3-26			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	27名	
		ユニット数	3ユニット	
自己評価作成日	平成27年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成27年3月31日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所11年を迎え、地域の一員として地域行事に参加し、地域の小学生の福祉体験や音楽会参加など交流をもち、地域社会との繋がりを大切に築いて参りました。毎日天気の良い日には散歩に出かけると、顔なじみの方々が声を掛けて下さいます。また年2回のご家族様と地域の方を招いて、夏にはバーベキュー大会、冬にはクリスマス会を行い皆様楽しんで頂いています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成27年2月14日	評価機関 評価決定日	平成27年3月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】</p> <p>◇理念をふまえた利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念「普通の家庭生活を地域の方々や職員とともに、楽しく過ごしていただけるように努めます」の実現を目指し、利用者が家庭的な雰囲気の中で、地域住民とも交流しながら自由に過ごせるようケアに取り組んでいる。 <p>◇地域に根ざした事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入し、地域の防災訓練や清掃、夏祭りなどに参加し、地域の一員として活動している。 ・事業所の納涼祭に近隣住民を招待し、また、フラダンス、津軽三味線やギター演奏のボランティアの来訪もあり、利用者は地域住民との交流を楽しんでいる。 <p>【事業所が工夫している点】</p> <p>◇家族へ丁寧な報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月家族に送る通信文で、利用者の健康状態をはじめ、生活状況などを写真を添えて居室担当職員が丁寧に知らせ、家族に安心感を与えている。 <p>◇利用者を楽しませる外出支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の公園や買い物兼ねた散歩に加え、弘明寺の桜、横須賀の菖蒲園など利用者の希望を入れ、季節に応じた外出先にドライブを兼ねて出かけている。帰路喫茶店やファミリーレストランに寄り、お茶や食事をするのが利用者の楽しみになっている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	さくらユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方との繋がりや普通の家庭生活のようにご自分のペースで生活が出来るよう支援することを理念とし、毎朝申し送りにて唱和し業務に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に「普通の家庭生活を地域の方々や職員とともに、楽しく過ごしていただけるように努めます」を掲げ、利用者が家庭的な雰囲気の中で自由に過ごせるよう支援している。 ・毎朝の申し送り時に、理念を唱和・確認して実践につなげている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、町内の催しへの参加や、地域の小学校との交流を持ち行事参加など、地域との交流を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入しており、利用者が地域の防災訓練やお祭りに参加し、地域の一員として活動している。 ・事業所の納涼祭に近所の人々を招待し、また、フラダンス、三味線やギター演奏のボランティアの来訪があり、交流を楽しんでいる。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生員の方の施設見学の際、小学生の福祉体験学習を受け入れる際に認知症についてや認知症の方への接し方などお話をさせて頂いています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などをいただいております。災害時の対応の意見や消防訓練に参加して頂き助言を頂くことが出来ました。	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月ごとの運営推進会議で、事業所の活動報告後、意見交換を行っている。 ・当地区は土砂災害の発生可能性が高く、避難所までの移動訓練実施の提案があり、運営推進会議のメンバーで実施する検討を始めた。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議での、事業所の運営や取組みについての評価や意見交換や助言を報告しています。また金沢区徘徊ネットワーク事業の会議や研修に参加し意見交換を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・区の高齢・障害支援課の担当者とは、要介護更新申請代行時に現況報告などで連絡を取り合い、協力関係を築いている。 ・地域包括センターとの連絡を密にし、利用者の支援方法や家族への対応などを相談できる態勢にある。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。玄関の施錠については日中は開錠し防犯上夜間帯は施錠を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 職員は事業所内研修で身体拘束禁止を学び、身体拘束をしないケアを実践している。 研修では、拘束事例の一覧表で各自チェックし再確認した。 管理者は職員の不適切な言動には、その都度注意している。 	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。職員間での話し合いをもち、見過ごす事のないよう防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を受けている方が実際におられ、職員の研修等を行い学ぶ機会をもち理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時から疑問や不安点にお答えし、契約前には、重要事項の説明を十分に行い、ご理解いただいた上で契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様の要望・意見を面会時や個別面談時に伺い、ミーティングなどを通し、速やかに個別ケアに活かせるよう取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> 家族の意見や要望は、来訪時や家族会、電話連絡で聴き、検討してケアに生かしている。利用者からは日常生活の中で把握し、実現に向けて取り組んでいる。 「職員の顔と名前が一致しない」との意見に、スタッフ紹介（写真入り）を掲示し対応した事例がある。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談の機会を設け、個々の職員の意見や提案を反映し、業務改善等を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は、毎月のフロアー会議や毎日の申し送り、個人面談で職員の意見を聞いて運営に反映している。 ・職員の提案で、早番、日勤、夜勤の業務分担の変更を行い、業務改善が図られた。 	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、資格取得の推進を行い、取得者には給与の見直しや役職昇進等を行い、やりがいをもって働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得支援や内部研修はもとより、外部研修についても、受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県のグループホーム連絡会の研修への参加を奨励している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人様に施設内を見学して頂き、困っていることや不安や心配な事をゆっくりと伺い、安心して頂けるようお話しさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様とご家族様が一番何に困っているか、今後の不安や心配なことを伺い、出来るだけご要望に沿えるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様が必要とされている支援を見極め、職員間で情報を共有し、外部のサービス利用を含め適切な支援が行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本にの能力や力を活かし、職員の手助けにて、ご本人が出来る事を行って頂き、共に助け合いながら生活が送れるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族とも共有し、一方通行にならないよう心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人との手紙のやり取りや電話、面会等、継続して頂くために、手紙の代筆や電話を掛けたり等、関係が継続できるよう、支援させて頂いています。	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や家族の来訪時には、お茶を入れ居室での歓談を支援している。 ・家族の協力を得て、自宅へ帰ったり、墓参りなど利用者が大切にしていた場所を訪れている。 ・電話の取次ぎや、手紙や賀状の作成・投函などを支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は皆様、リビングで過ごされることが多く、気の合った利用者様同士会話が弾んだり、レクレーションを皆様と一緒に楽しまれたりとよい関係性が保たれていると思います。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、ご家族からのご相談に対しては、きめ細かい対応が出来るよう心がけています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様から随時お話をお聞きするとともに、お聞きしたことに対して、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っている。	・利用者の思いや意向は、家族の情報と毎日の会話や表情から把握している。意思疎通が困難な利用者は、日々の行動や仕草で確認している。 ・把握した思いや意向は、申し送りノートに記載し、職員間で共有してケアに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や、生活環境などご本人様、ご家族様から伺い、職員間で共有し把握し、ご自分のペースで生活を送って頂ける様、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントやADL表、介護日誌等、申し送りノートなどの活用して、日々の暮らしの中での必要な情報の共有を全職員間で行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、利用者様やご家族様からの意見をお聞きし、介護計画に反映できるよう話し合いを行っています。	・アセスメントとモニタリングの結果をもとにカンファレンスを行い、利用者と家族の意向を取り入れて、介護計画を作成している。 ・計画は6か月ごとに見直し、家族の同意を得て実施しているが、変化があれば都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録に記入したことや、日々のケアによる気づきをフロアミーティングの席で共有し、個別ケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご要望により、通院や理美容など利用者様一人一人に応じ、必要な支援は柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加させて頂き子供たちや地域の方とお祭りを楽しんだり、近隣の小学校との交流をもち昔の遊びや昔の話をされ、楽しまれています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様の希望を大切にしご希望の医療機関へ受診を支援し、受診の際は情報の提供や共有を行い適切な医療が受けられるよう支援しています。	・本人や家族が希望する医療機関での受審を支援しているが、現在全員が協力医をかかりつけ医とし、月2回の往診を受けている。 ・訪問歯科の治療と看護師の健康管理を毎週行い、看護師とは24時間連絡体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度、訪問看護師にて、1週間の体調の変化をつたえ、ケアのポイントなど助言や指導を受け支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院中も、ご家族や医療機関看護師との連絡や相談を行うよう心がけ、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方についてホームとして出来ること出来ないことを説明し、体調急変時の対応方法や、受診・往診対応について、ご家族やかかりつけ医と連絡を取り方針の共有をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に「重度化した場合の対応指針」を本人と家族に説明し、同意を得ている。 ・重度化した場合は、家族、医師、看護師、職員が連携し、方針を共有して支援する体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への研修会を実施し、全員がターミナルケアの理解と情報を共有することが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法については、研修を行い職員への周知を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を定期的に行う際に、町内会やご家族の方にも参加して頂き訓練を実施しました。施設内倉庫には水・食料等の備蓄を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署の協力と地域住民の参加を得て避難訓練を年2回実施し、1回は夜間を想定した訓練を行っている。 ・食料、水の3日分と、紙おむつや防寒具などを備蓄し、備蓄品リストを作成し適正に管理している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、研修を行い、人格の尊重とプライバシーの確保につとめています。	<ul style="list-style-type: none"> 職員は接遇について、定期的に研修を受け自己チェックを行い、利用者の人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 排泄や入浴時に、他者の視線を遮るよう配慮し、赤ちゃん言葉での対応をしないよう注意している。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境作りや答え易い質問をすることで、ご自身の意思を表し、出来得る限り自己決定出来る様な支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、その日の天候や、体調・ご本人様の希望を取り入れて、ご自分のペースで生活が送れるよう支援を行なっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の洋服選びは職員がアドバイスをを行いご本人に選んで頂き、また誕生会や行事、日頃から写真撮影の機会を増やし自然にオシャレを行える様、支援させて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや盛り付け、食器拭きを利用者様と一緒に、食後には、味付けなどの感想や、助言を頂く際に、ご自身の経験や思い出をお話になる事も有ります。	<ul style="list-style-type: none"> 食材業者からの食材の下ごしらえや調理を、利用者ができる範囲で手伝い、職員と一緒に談笑しながら食事を楽しんでいる。 外食や寿司の出前、バーベキュー大会などのイベントを行い、食事を楽しめるようにしている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握し、適切な提供が出来るよう配慮しています。特に水分については、利用者が摂取し易いよう、飲み物の種類を変えるなど工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員による声掛けや介助にて口腔ケアを行っています。その方に応じた介助を行い、訪問歯科医の助言や指導を頂き口腔内の清潔に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の状態や排泄の習慣を把握し、自力の排泄が出来るよう支援しています。失敗の多い方については、ミーティング等で話し合い、改善を図り、トイレ内での排泄を目標に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・チェック表の活用や様子の観察でトイレ誘導や声掛けを行っている。 ・入院していた方も退院後、オムツ外しに努め、現在、昼間はほぼ全利用者がトイレで排泄している。 ・個々の状況に合わせた介助方法を全職員で検討している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や散歩、家事の手伝い等に参加して頂き、毎日体を動かして自然な排便が行えるよう、支援させて頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	職員の都合ではなく、利用者本人の意向や、当日のバイタルチェックによる身体状況に合わせた入浴の支援を行っています。入浴前の声掛けや会話を工夫することで、安心して楽しみながら入浴して頂くよう心掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回は入浴できるよう声掛けをしている。要望があれば入浴回数を増やし、入浴を拒む方には清拭を行うなど柔軟に対応している。 ・同性介助の要望に応じている。 ・柚子湯など行事浴で気分を変え、入浴を楽しめるよう配慮している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠して頂くように、日中の過ごしかたや活動に配慮し、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っています。またご本人に伺いながら休息も取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時には、見守り、服用後の再確認等を複数の職員にて行い、声出し確認を重視し、服薬事故の無いよう努めています。薬の処方時には薬剤師の説明を受け目的や変更の理解に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりの好みや趣味嗜好などを把握し、個人の力に合わせたレクリエーションや役割を持って参加できるような行事等の提供に心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日にはホーム近くの公園人口の川へ散歩に出かけられたり園庭での日向ぼっこを行って頂いたり、出来るだけ全員が外気浴が行えるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の外気浴のほか、買い物や理美容室利用の個別支援をしている。 ・利用者の希望を聞いて行先を決め、横須賀しょうぶ園や称名寺、弘明寺などに、お花見や紅葉狩りに出かけている。 ・家族の協力で墓参りに出かける際は、体調管理の面で協力している。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店で買い物を楽しむことが出来るよう付き添いの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人のご希望やご家族のご意向に即して出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや廊下などは入居者様と職員手作りの四季折々の飾り物などで季節を感じて頂き、レクリエーションの写真等を展示し、思い出を楽しんで頂けるよう、努めています。	・手順を決めて清掃し、季節の花を飾るなど、居心地よく過ごせるよう配慮している。職員は声の大きさやドアの開閉音に気を配っている。 ・それぞれの状況に合わせた椅子を用意し、和室にはソファを置いて寛いで過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファなどでくつろぎながらご利用者同士談話できるように配慮しています。また席順については入居者様の相性に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者様の好みの物や馴染みの物等を持ち込んでいただき、その方の居心地のよい環境作りに配慮しています。また、居室の物品は定期的に整理して、使いやすいようにしています。	・エアコンとクローゼット付の居室に、利用者は好みの家具や寝具、写真などを持ち込んでいる。家族管理の冷蔵庫の持ち込みもある。 ・職員は清掃や布団干し、衣類の入れ替えを手伝い、居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面台など利用しやすい高さに設定し、廊下も広く手摺をつけ安全面での配慮を行い、居室の表示についても、利用者様にわかりやすく表示しています。		

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	かえでユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方との繋がりや普通の家庭生活のようにご自分のペースで生活が出来るよう支援することを理念とし、毎朝申し送りにて唱和し業務に取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、町内の催しへの参加や、地域の小学校との交流を持ち行事参加など、地域との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生員の方の施設見学の際、小学生の福祉体験学習を受け入れる際に認知症についてや認知症の方への接し方などお話をさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などをいただいております。災害時の対応の意見や消防訓練に参加して頂き助言を頂くことが出来ました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での、事業所の運営や取組みについての評価や意見交換や助言を報告しています。また金沢区徘徊ネットワーク事業の会議や研修に参加し意見交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。玄関の施錠については日中は開錠し防犯上夜間帯は施錠を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。職員間での話し合いをもち、見過ごす事のないよう防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を受けている方が実際におられ、職員の研修等を行い学ぶ機会をもち理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時から疑問や不安点にお答えし、契約前には、重要事項の説明を十分に行い、ご理解いただいた上で契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様の要望・意見を面会時や個別面談時に伺い、ミーティングなどを通し、速やかに個別ケアに活かせるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談の機会を設け、個々の職員の意見や提案を反映し、業務改善等を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、資格取得の推進を行い、取得者には給与の見直しや役職昇進等を行い、やりがいをもって働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得支援や内部研修はもとより、外部研修についても、受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県のグループホーム連絡会の研修への参加を奨励している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人様に施設内を見学して頂き、困っていることや不安や心配な事をゆっくりと伺い、安心して頂けるようお話しさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様とご家族様が一番何に困っているか、今後の不安や心配なことを伺い、出来るだけご要望に沿えるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様が必要とされている支援を見極め、職員間で情報を共有し、外部のサービス利用を含め適切な支援が行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本にの能力や力を活かし、職員の手助けにて、ご本人が出来る事を行って頂き、共に助け合いながら生活が送れるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族とも共有し、一方通行にならないよう心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人との手紙のやり取りや電話、面会等、継続して頂くために、手紙の代筆や電話を掛けたり等、関係が継続できるよう、支援させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は皆様、リビングで過ごされることが多く、気の合った利用者様同士会話が弾んだり、レクレーションを皆様と一緒に楽しまれたりとよい関係性が保たれていると思います。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、ご家族からのご相談に対しては、きめ細かい対応が出来るよう心がけています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様から随時お話をお聞きするとともに、お聞きしたことに対して、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や、生活環境などご本人様、ご家族様から伺い、職員間で共有し把握し、ご自分のペースで生活を送って頂ける様、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントやADL表、介護日誌等、申送りノートなどの活用して、日々の暮らしの中での必要な情報の共有を全職員間で行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、利用者様やご家族様からの意見をお聞きし、介護計画に反映できるよう話し合いを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録に記入したことや、日々のケアによる気づきをフロアミーティングの席で共有し、個別ケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご要望により、通院や理美容など利用者様一人一人に応じ、必要な支援は柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加させて頂き子供たちや地域の方とお祭りを楽しんだり、近隣の小学校との交流をもち昔の遊びや昔の話をされ、楽しまれています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様の希望を大切にしご希望の医療機関へ受診を支援し、受診の際は情報の提供や共有を行い適切な医療が受けられるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度、訪問看護師にて、1週間の体調の変化をつたえ、ケアのポイントなど助言や指導を受け支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院中も、ご家族や医療機関看護師との連絡や相談を行うよう心がけ、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方についてホームとして出来ること出来ないことを説明し、体調急変時の対応方法や、受診・往診対応について、ご家族やかかりつけ医と連絡を取り方針の共有をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法については、研修を行い職員への周知を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を定期的に行う際に、町内会やご家族の方にも参加して頂き訓練を実施しました。施設内倉庫には水・食料等の備蓄を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、研修を行い、人格の尊重とプライバシーの確保につとめています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境作りや答え易い質問をすることで、ご自身の意思を表し、出来得る限り自己決定出来る様な支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、その日の天候や、体調・ご本人様の希望を取り入れて、ご自分のペースで生活が送れるよう支援を行なっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の洋服選びは職員がアドバイスをを行いご本人に選んで頂き、また誕生会や行事、日頃から写真撮影の機会を増やし自然にオシャレを行える様、支援させて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや盛り付け、食器拭きを利用者様と一緒に、食後には、味付けなどの感想や、助言を頂く際に、ご自身の経験や思い出をお話になる事も有ります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握し、適切な提供が出来るよう配慮しています。特に水分については、利用者が摂取し易いよう、飲み物の種類を変えるなど工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員による声掛けや介助にて口腔ケアを行っています。その方に応じた介助を行い、訪問歯科医の助言や指導を頂き口腔内の清潔に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の状態や排泄の習慣を把握し、自力の排泄が出来るよう支援しています。失敗の多い方については、ミーティング等で話し合い、改善を図り、トイレ内での排泄を目標に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や散歩、家事の手伝い等に参加して頂き、毎日体を動かして自然な排便が行えるよう、支援させて頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	職員の都合ではなく、利用者本人の意向や、当日のバイタルチェックによる身体状況に合わせた入浴の支援を行っています。入浴前の声掛けや会話を工夫することで、安心して楽しみながら入浴して頂くよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠して頂くように、日中の過ごし方や活動に配慮し、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っています。またご本人に伺いながら休息も取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時には、見守り、服用後の再確認等を複数の職員にて行い、声出し確認を重視し、服薬事故の無いよう努めています。薬の処方時には薬剤師の説明を受け目的や変更の理解に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりの好みや趣味嗜好などを把握し、個人の力に合わせたレクリエーションや役割を持って参加できるような行事等の提供に心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日にはホーム近くの公園、人口の川へ散歩に出かけられたり園庭での日向ぼっこを行って頂いたり、出来るだけ全員が外気浴が行えるよう努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店で買い物を楽しむことが出来るよう付き添いの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人のご希望やご家族のご意向に即して出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや廊下などは入居者様と職員手作りの四季折々の飾り物などで季節を感じて頂き、レクリエーションの写真等を展示し、思い出を楽しんで頂けるよう、努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファなどでくつろぎながらご利用者同士談話できるように配慮しています。また席順については入居者様の相性に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者様の好みの物や馴染みの物等を持ち込んでいただき、その方の居心地のよい環境作りに配慮しています。また、居室の物品は定期的に整理して、使いやすいようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面台など利用しやすい高さに設定し、廊下も広く手摺をつけ安全面での配慮を行い、居室の表示についても、利用者様にわかりやすく表示しています。		

事業所名	グループホーム金沢けやき園
ユニット名	つばきユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらい
			3, 利用者の1/3くらい
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方との繋がりや普通の家庭生活のようにご自分のペースで生活が出来るよう支援することを理念とし、毎朝申し送りにて唱和し業務に取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、町内の催しへの参加や、地域の小学校との交流を持ち行事参加など、地域との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生員の方の施設見学の際、小学生の福祉体験学習を受け入れる際に認知症についてや認知症の方への接し方などお話をさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などをいただいております。災害時の対応の意見や消防訓練に参加して頂き助言を頂くことが出来ました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での、事業所の運営や取組みについての評価や意見交換や助言を報告しています。また金沢区徘徊ネットワーク事業の会議や研修に参加し意見交換を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。玄関の施錠については日中は開錠し防犯上夜間帯は施錠を行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での研修やミーティングなどを通し、具体的に理解を深めるように取り組んでいます。職員間での話し合いをもち、見過ごす事のないよう防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を受けている方が実際におられ、職員の研修等を行い学ぶ機会をもち理解を深めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時から疑問や不安点にお答えし、契約前には、重要事項の説明を十分に行い、ご理解いただいた上で契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様の要望・意見を面会時や個別面談時に伺い、ミーティングなどを通し、速やかに個別ケアに活かせるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談の機会を設け、個々の職員の意見や提案を反映し、業務改善等を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、資格取得の推進を行い、取得者には給与の見直しや役職昇進等を行い、やりがいをもって働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得支援や内部研修はもとより、外部研修についても、受講する機会を阻害しないよう勤務ローテーションへの配慮を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県のグループホーム連絡会の研修への参加を奨励している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前にご本人様に施設内を見学して頂き、困っていることや不安や心配な事をゆっくりと伺い、安心して頂けるようお話しさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様とご家族様が一番何に困っているか、今後の不安や心配なことを伺い、出来るだけご要望に沿えるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様が必要とされている支援を見極め、職員間で情報を共有し、外部のサービス利用を含め適切な支援が行えるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本にの能力や力を活かし、職員の手助けにて、ご本人が出来る事を行って頂き、共に助け合いながら生活が送れるよう努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族とも共有し、一方通行にならないよう心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人との手紙のやり取りや電話、面会等、継続して頂くために、手紙の代筆や電話を掛けたり等、関係が継続できるよう、支援させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中は皆様、リビングで過ごされることが多く、気の合った利用者様同士会話が弾んだり、レクレーションを皆様と一緒に楽しまれたりとよい関係性が保たれていると思います。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後でも、ご家族からのご相談に対しては、きめ細かい対応が出来るよう心がけています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様から随時お話をお聞きするとともに、お聞きしたことに對して、フロアミーティングの場などで把握・検討を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や、生活環境などご本人様、ご家族様から伺い、職員間で共有し把握し、ご自分のペースで生活を送って頂ける様、努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントやADL表、介護日誌等、申送りノートなどの活用して、日々の暮らしの中での必要な情報の共有を全職員間で行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員、看護職員、介護支援専門員それぞれの立場で、利用者様やご家族様からの意見をお聞きし、介護計画に反映できるよう話し合いを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援記録に記入したことや、日々のケアによる気づきをフロアミーティングの席で共有し、個別ケアに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族のご要望により、通院や理美容など利用者様一人一人に応じ、必要な支援は柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加させて頂き子供たちや地域の方とお祭りを楽しんだり、近隣の小学校との交流をもち昔の遊びや昔の話をされ、楽しまれています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様の希望を大切にしご希望の医療機関へ受診を支援し、受診の際は情報の提供や共有を行い適切な医療が受けられるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度、訪問看護師にて、1週間の体調の変化をつたえ、ケアのポイントなど助言や指導を受け支援に繋がっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院中も、ご家族や医療機関看護師との連絡や相談を行うよう心がけ、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方についてホームとして出来ること出来ないことを説明し、体調急変時の対応方法や、受診・往診対応について、ご家族やかかりつけ医と連絡を取り方針の共有をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法については、研修を行い職員への周知を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を定期的に行う際に、町内会やご家族の方にも参加して頂き訓練を実施しました。施設内倉庫には水・食料等の備蓄を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であるという認識を持って接しており、接遇について失礼の無いよう心がけ、研修を行い、人格の尊重とプライバシーの確保につとめています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境作りや答え易い質問をすることで、ご自身の意思を表し、出来得る限り自己決定出来る様な支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、その日の天候や、体調・ご本人様の希望を取り入れて、ご自分のペースで生活が送れるよう支援を行なっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の洋服選びは職員がアドバイスをし、ご本人に選んで頂き、また誕生会や行事、日頃から写真撮影の機会を増やし自然にオシャレを行える様、支援させて頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや盛り付け、食器拭きを利用者様と一緒にし、食後には、味付けなどの感想や、助言を頂く際に、ご自身の経験や思い出をお話になる事も有ります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握し、適切な提供が出来るよう配慮しています。特に水分については、利用者が摂取し易いよう、飲み物の種類を変えるなど工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、職員による声掛けや介助にて口腔ケアを行っています。その方に応じた介助を行い、訪問歯科医の助言や指導を頂き口腔内の清潔に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の状態や排泄の習慣を把握し、自力の排泄が出来るよう支援しています。失敗の多い方については、ミーティング等で話し合い、改善を図り、トイレ内での排泄を目標に努めています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や散歩、家事の手伝い等に参加して頂き、毎日体を動かして自然な排便が行えるよう、支援させて頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	職員の都合ではなく、利用者本人の意向や、当日のバイタルチェックによる身体状況に合わせた入浴の支援を行っています。入浴前の声掛けや会話を工夫することで、安心して楽しみながら入浴して頂くよう心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠して頂くように、日中の過ごし方や活動に配慮し、夜間の定期巡回時に、室温・湿度や睡眠状況などを把握し、支援を行っています。またご本人に伺いながら休息も取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬時には、見守り、服用後の再確認等を複数の職員にて行い、声出し確認を重視し、服薬事故の無いよう努めています。薬の処方時には薬剤師の説明を受け目的や変更の理解に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様一人ひとりの好みや趣味嗜好などを把握し、個人の力に合わせたレクリエーションや役割を持って参加できるような行事等の提供に心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日にはホーム近くの公園、人口の川へ散歩に出かけられたり園庭での日向ぼっこを行って頂いたり、出来るだけ全員が外気浴が行えるよう努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店で買い物を楽しむことが出来るよう付き添いの支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りは、ご本人のご希望やご家族のご意向に即して出来るよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや廊下などは入居者様と職員手作りの四季折々の飾り物などで季節を感じて頂き、レクリエーションの写真等を展示し、思い出を楽しんで頂けるよう、努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのソファなどでくつろぎながらご利用者同士談話できるように配慮しています。また席順については入居者様の相性に配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者様の好みの物や馴染みの物等を持ち込んでいただき、その方の居心地のよい環境作りに配慮しています。また、居室の物品は定期的に整理して、使いやすいようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗面台など利用しやすい高さに設定し、廊下も広く手摺をつけ安全面での配慮を行い、居室の表示についても、利用者様にわかりやすく表示しています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム金沢けやき園

作成日 平成27年3月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ターミナルケアに関し、職員への研修が少ないため、今後の実施に向け具体的な計画を示し、職員への研修を行う必要があります。	ターミナルケア実施に向け、具体的な計画を示し、職員の研修を行い、理解と情報の共有を行っていきます。	訪問医、訪問看護、薬剤師と協力し、具体的な計画を示して職員への研修を行い、医療的な理解を深めていきます。	1年
2					
3					
4					
5					